

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、排水金具をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

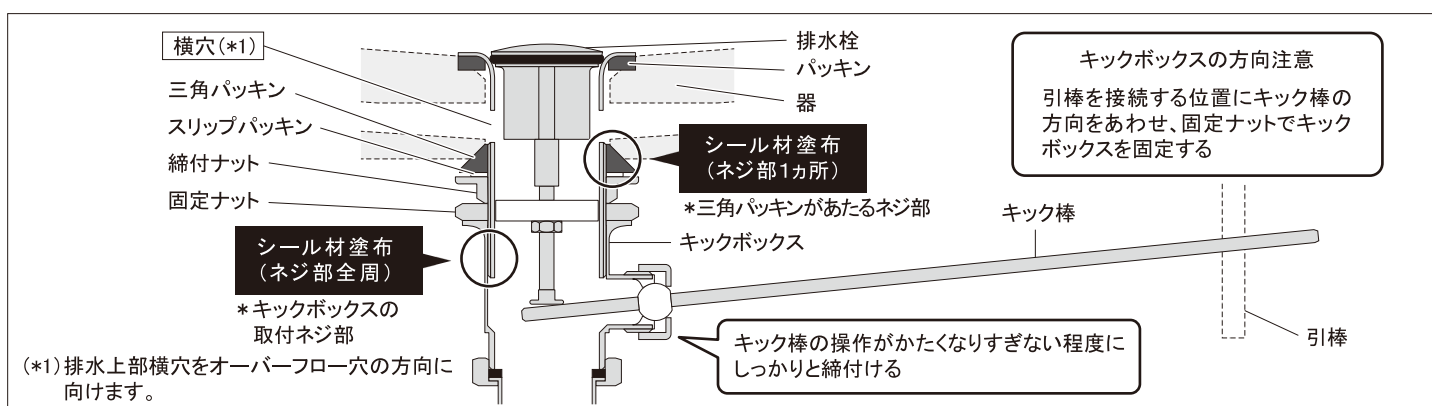
取付方法



注意

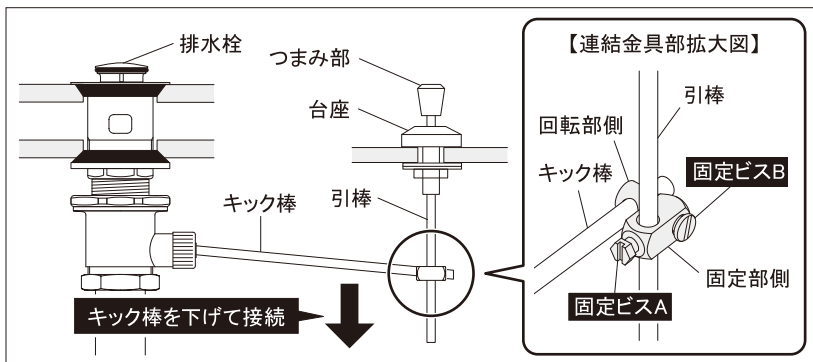
- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
- キックボックス取付けの際は、キック棒を持って締付けないでください。キック棒の根元に無理な力が掛かり、漏水する恐れがあります。
- 引棒は、水栓金具・給水ホース・排水管等に干渉しない位置で作動するよう調整してください。

1. 排水金具を取付けます。



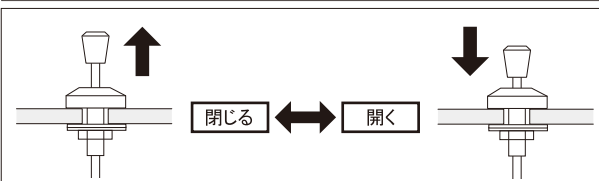
2. 引棒を接続します。

*水栓付属引棒の場合も、下記をご参照ください。



- ①キック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを締付け、引棒に固定します。
- ②円滑に作動するように連結金具の固定位置を微調整します。
- ③固定ビスA・Bをしっかりと締付けます。

排水栓の操作方法



つまみ部を引上げると「閉じ」、押下げると「開き」ます。

施工後の確認

- ①つまみ部を数回操作し、排水栓の開閉を確認します。

*排水栓の開閉がうまくいかない場合は、下記を参考に排水栓の長さを調節してください。

排水栓長さの調節方法

- ①ナットをゆるめます。
- ②ボルトの長さを調節します。ボルトを時計回りにまわすと短く、反時計回りにまわすと長くなります。
- キック棒(つまみ部)を引上げたときに排水栓が十分に閉じない場合は、A寸法を短くしてください。
- キック棒(つまみ部)を押下げたときに排水栓が十分に開かない場合は、A寸法を長くしてください。
- ③再度ナットをしっかりと締付けて固定します。

- ②器に水をためてから排水し、各部から水もれがないか確認します。水もれがある場合は、その箇所を施工し直してください。

【排水栓長さ】

